

ふるさと上越ネットワーク会報

NO.19 2005.7



「ふるさと越後大使」の活躍

杉置 内藤 實（本町六丁目出身）

Ｊネットふるさと越後大使が誕生して
丸一年過ぎました。

大使の皆さんの各方面での活躍をご紹
介致します。

昨年五月の総会で四十五名の希望者に
市長より越後大使の名刺をいただき、積
極的に上越市のPRをお願いしました。

前々回の十七号会報でも大使の使命を
ユーモア交じりの十五ヶ条で示しました
が、難しいことは何もありません。あれ
から満一年が経ち、更に三十名の方に参
加して頂き、現在は七十五名が名刺を
持って活躍しておられます。会員総数が
約七八〇名ですから、会員十名に一人は
大使です。

私も名刺のお陰で「大使さん」と呼ば
れるようになりました。

お城と桜がデザインされた名刺なら、
「大使」の名称より「江戸家老」の名称の



方が粹ではないかと助言する人もいます。

名詞一枚で楽しい話し合いが進みます。

皆さんも是非お仲間に入ってみませんか。
名刺にまつわる話題は尽きません。

Ｊネットの会員は皆さん誰でも「ふる
さと越後大使」になれるのです。

大使の申し込みはＪネット事務局（上
越市役所企画政策課）で扱っております。

ふるさと大使

伊藤 紀（南城町出身）

この名刺は、どなたにも笑顔で渡せる
し、笑顔で受け取っていたけます。お
客さんと商談が途切れそうな時には効

果があります。話が弾み、雪国の新緑、春
の夜桜、夏の蓮の花となります。そして、

次の訪問の時は必ず私を「越後大使」と
して迎えてくれます。

仕事中でもほっと一息つける名刺でも
あります。名刺が縁でご近所の夫婦をお
招きしたりしました。ふるさとを離れ、忘
れていた上越を思い出した始めたのは越後
大使に任命され、この名刺を持ち歩くよ
うになったからだと思います。

ふるさと大使

勝島 敏明（天王町出身）

Ｊパワー（電源開発）の監査役として、
奥只見に行った折の大湯温泉での会食の
席上での「越後大使」の活躍を披露しま
す。

「私は大使」ですと名刺で説明すると、
春日山城・高田城・お米・お酒に話題が
尽きず、十三町村の合併にまで及び、市
の形状は恐竜の頭と説明して笑いを誘い
ました。

名刺の城をバックにした桜の絵模様は
好評でしたが、裏面は活字が小さくて文
章が長いのが不評でした。大きな字にし
て名産品や銘酒はどうでしょう。

郷土の宣伝に名刺は大いに役立ってい
ます。





ふるさと大使

金沢 一男（大町五丁目出身）

府中市内の会合や毎月のTBSの遊学舎サロンで名刺を配っています。

遊学舎サロンでの出来事。設計事務所
の建築士が「上越市大町五丁目の今井ア
ティックの新装開店に行ってきました。
私が設計しました」と言われて、よく話
を聞きましたら、私の大町五の家の斜向
いで、びっくりしました。

今井アティックはJネットの前理事の
今井一孝氏の妹さんの今井久美子さんの
店です。今井さんの今井染物店の建物は
市の重要文化財指定)

ふるさと大使

寺澤 実（南町出身）

越後人としての誇りを持って名刺を活
用させて頂いています。会合・商談の席
で、名刺の所以を聞かれて説明するこ
ろからよいドン。自慢且つ得意気に謙
信！上越一の歴史・文化・産業・特産品
について知る限り立て板に水の如く話し、
それが口火となり同席メンバーが出身郷
土の自慢話となります。戦国大名が次々
に登場して今昔国取物語に一変します。
効果的で仲間も増えました。

しかし、説明の機会が増えるにつれて
「越後」のことが自分自身あまりわかって
いないことに気がつきました。大使の名
に相応しい人物になるように研鑽した
と思います。

遅ればせながら、謙信を勉強し、謙信
への熱い思いを益々強くしました。

越後人としての「誇りと気高さ」を大
切に先人先輩に感謝しつつ「越後発！世
界に飛び出せ！」を信条に越後の輪を広
げていきたいと思えます。



ふるさと大使

和久井博（幸町出身）

私は、仕事柄各種のセミナーやシンポ
ジウムに参加する機会が多くあります。
そんな時、二十年以上も前から親しくし
ている大学の先生や会社役員の方にお会
いすることがありますが、改めて名刺交
換などということをしないうままに時が過
ぎて、会社には黄色く変色した古い名刺
が残っています。

そんな時、ふるさと越後大使の名刺は
役に立ちます。「先生、実は私、最近この
ような名刺持っています。」と名刺を渡し
ますと、「へえー、面白いですね。」といっ
て、自分の名刺をくれます。改めて名刺
をもらおうと、所属や肩書きが変わって
いるのがわかります。そして、古い名刺の
更新が進みます。

また、先日、仲町のスナックへ行っ
たとき、「お名刺いただけますか？」とママに
言われたので、大使の名刺を出しました
ら、「あら、この名刺ももらったことがあ
る！」と。駄目ですよ。大使の名刺を仲
町で配っては。

ふるさと大使

佐藤 静子（大日出生）

昨年の総会で名刺を手渡されて、その
美しさ立派さに感激し、身の引き締まる
思いがしました。この三月に定年退職し、
ちよつと寂しいのですが、会う人ごとに
名刺を渡し、「上越」のPRをしています。
外出の時は名刺だけは忘れないように確
認しています。

今は種子を播く時期と心得て、必ず成
果があると確信しています。



平成十七年度

ふるさと上越ネットワーク 総会開催

五月二十八日、アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段）において会員七十四人の参加を得て平成十七年度ふるさと上越ネットワーク総会が開催されました。

太田会長の挨拶、伊藤収入役の挨拶を戴きました。太田会長の議長のもと、平成十六年度の事業報告、決算報告、平成十七年度の事業計画、予算、規約の改正、役員改正の六議案を審議されいづれも承認されました。



上越市野澤企画政策課長の活動報告



水嶋監事の監査報告



司会の小野塚運営委員



和久井新会長挨拶

会長挨拶

「ネット会長

太田四郎

(本町五丁目出身)

本日は、ご多忙の中平成十七年度総会のためご来賓をはじめ多数の会員の皆様方にご出席いただきありがとうございます。開会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

昨年は中越大震災をはじめ多くの台風など自然災害に悩まされた年でございました。

今年こそは穏やかな年でありますように年頭に願っておりますが三月の福岡大震災、一ヶ月前の尼崎電車大事故など年が新たまりましても災害がおこり、災害はいつでも起こりうるという感じをしたわけでございます。

一方、経済情勢につきましては景気の回復について、先行き明るい感じがでてきたところでございます。それから内外の政治情勢混乱につきましてなかなかむづかしい問題が蓄積しているような状態でございますが、そのような中でふるさと上越ネットワークはおかげさまで平成十九年設立以来九年を迎えることが出来ました。

この間会員の皆様方のご協力によりまして、文化講演、あるいはふるさと越後大使などの新規事業が定着いたしました。また各事業の内容につきましても充実してまいりましたわけでございます。先月「ふるさと交流会」がございまして高田

城址の花見に参加したわけでございますが、花見は残念ながら少し早すぎましたが、翌日名立に行きまして名立に日本一のもくき工場がございまして、一、三〇〇年前に創建されたという岩屋堂観音堂、鳥ヶ首岬灯台から眺める日本海の絶景、なかなかたいしたものだというところで名立も新しい上越市のなつたわけでございますが、非常に大きな観光資源がありまして、それをまづ交流事業として取り上げたということは企画としても立派だなと感じた次第でございます。三浦部長のふるさと、それから理事の下山さんのふるさとでございますが、海岸沿いのさびれた日本海の漁港ですが、まわってみますとこ

なにいどころがたくさんあるのでびっくりしました。これから交流事業はいろいろ新しくなった区域をこのようにまわるわけでございます。皆様方にふるつてご参加していただいで新上越市のいいところを満喫していただきたいとおもっているわけでございます。このような事業やっていただいでおるわけでございますけど、残念ながら当初一、〇〇〇人超えておりました会員数は年度末には八〇〇人を切るまでに減少してきたということでございます。今年度の新規事業としましても新たに上越市となつた地区のふるさと会との交流を計画しておるといってございまして、今回の合併を契機といたしまして会員増強についてよろしくご尽力をお願いいたします。これは毎度お願い申し上げて恐縮でございますがよろしくお願ひしたいと思います。今日は年に一度の総会・懇親会でございます。このひとときを語らいな

がら楽しく過ごしていただきたいと思っております。

最後になりましたが皆様のおまますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

平成17年度ふるさと上越ネットワーク
総会・ふるさと寄席



来賓挨拶

上越市収入役

伊藤 保

ごめんください。今ほどご紹介いただきました上越市収入役の伊藤と申します。お招きいただきました木浦市長ですが、今日は市の主催事業がいくつかはいつおりましてどうしても日程をとることが出来ず、代わりに伺わせていただきました。せつかくの機会ですので、一言ご挨拶させていただきます。

今日はふるさと上越ネットワーク総会開催誠におめでとうございます。そして今程ご挨拶にもありましたようにいろいろ毎年活発な事業をされていることに対して頭の下がる思いをしております。この総会も例年この時期に行われるわけですが昨年例年より一年経つわけでありまして、皆様方におかれましてはいろいろの出来事があったことでしょうか。私どももいろいろのことがありました。昨年の

十月には中越大震災では大きな被害がありました。上越におきましては幸いなことに何回か大きなゆれを感じましたが、そのまま終息いたしました。皆様方のご実家やご親戚の安全を確認されるまで気をもまれたことと思っております。テレビ

あるいは新聞で報道されたように大きな被害を被られました旧山古志村ではありますが、これは最近長岡市と合併いたしました。この山古志村は住んでいた家が壊れ、耕していた農地が流れる、土木の専門家もまだまだ危険な状況で全員帰れと呼びかけるのは如何なものかと危惧しております。こうした状況にありましても山古志の皆さんは、村へ帰るんだという強い一念のもとに今復興に励んでおられます。そんなことでふるさとをそこ

に生まれ育った者にとっては何事にもかえ難い何かがあるようであります。そんな気持ちの後押ししたことでしよう。今ほど会長さんもふれられましたが、四月の観桜会にお越しいただきました。その頃はまだ寒い日が続いておりまして開花もせずつばみのままだったようですが、郷土料理を味わっていただき幼馴染みと楽しい時間を過ごされたら聞いております。私どもはいつお帰りになられても暖かくお迎えできるように心がけています。でございます。

～案内のように今年一月一日二〇〇五年の幕開けをもちまして全国最多の枠組みであります十四市町村が合併いたしました。新しい上越市が誕生いたしました。この記念式典を四月にとり行なったわけですが、インターネット会員の皆さんからお越しいただいたということであらためてお礼申し上げます。

今、誰もがばら色の夢を描けるような時代ではありませんが、皆様方の力添えをいただくなかで住民本位の力強いまちづくりを実現できればと願っております。

新しいまちの将来像に掲げました今日お手元に配布してある資料にもありますように、「海に山に大地になりわいと文化あふれる共生都市上越」の実現を目指しまして職員一堂よりしっかりと意識をもって取り組んでいるところであります。いずれにいたしましても皆様方にとりま

しての心よりどころでありますふるさと上越であり続けるために私ども一所懸命ががんばります。最後にになりましたが、このふるさと上越ネットワークのますますのご発展と本日お集まりの皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はたいへんありがとうございました。



副会長就任に当たって

杉並区 勝島敏明（直江津天王町出身）

去る五月二十八日の総会において、副会長を仰せつかりました勝島敏明です。

浅学非才でその任に必しもふさわしくないのですが、これまで受けた数多くの恩義に感謝すると共に、ふるさと上越の応援団の一人として恩返しのできる積りで、推挙されるままに、わが身の無能さを顧みず、お引き受けした次第です。精一杯努力する積りですので、皆様方の絶大なご協力とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

私は現在直江津高校同窓会関東支部の支部長をも仰せつかっております。前副会長の今井勇さんと同様、直江津の出身ですので、今井さん亡き後、直江津出身の代表として、副会長に推挙されたと理解しております。

Jネットは現在までのところ高田出身

の会員の数は多いのですが、直江津出身者は比較的少ないと認識しており、会員増強も私に課せられた一つの重要な使命かと思っております。勿論会長を補佐して会務の運営に積極的に携わらなければならぬことは当然のことでしょう。幸い、和久井新会長は多才で、かつアイディアマンでいらっしゃるし、松川副会長ともども有能な人材ですので、私はそれらの方々の足を引っ張らないようにしていくだけでよいと、多少気楽に考えているところです。

さて、上越市も新たに旧十三町村と合併し、面積の上でも人口面でも大きな市になりました。新井市が合併に加わらなかったことから、地図の形としては大変奇妙な、恐竜の頭のような形となっておりますが、いろいろな面で期待の持てる「ふ

るさと」になって行く予感がするのは私だけでしょうか。郷土の産物一つ取ってみても、越後米、味噌、茄子、胡瓜等の新鮮な野菜類、酒、水、笹たんごなどをとつても美味しいものばかりです。

誇りを持って、他の人達に勧められます。また、酒蔵が何倍にも増えたのはうれしい限りです。食べ物だけではなく、まばゆいばかりの自然、緑豊かな地の温泉など他に誇れるものが数多くあります。

上越に生まれてよかつたな—と思っっているのは私だけではないでしょう。

齢六十五歳を過ぎ、第二の人生とはいえ、また現役の部分も残っているため、故郷に帰る機会や観桜会などの行事に参加できる機会はそれほど多くはないのが実情ですが、できる限りそれらの行事に参加して皆さんと交流を深めて行きたいと思っております。

今後ともよろしくご交誼のほどお願い申し上げます。



理事をお引き受けして

三島市 杉臣 武（幸町出身）

なつたのは我ながら驚きである。

親の遺産相続は厄介なものである。ネコの額に足らぬ土地でも、ベイオフの脅威とは無縁の預金でも、下手をすれば親族を巻き込む騒動になりかねない。親父が亡くなった時、一番身近にいた長男の私が考えたのはそのことだった。生前親父は私が三島の住居を引き払って高田に戻るよう、半ば脅迫気味に訴えていたのだが、私には受けるわけにいかない家族の事情があった。結局すべての遺産を兄弟で等分してしまったので、昭和十年以来幸町の一角を占めていた親父の家は、隣家の駐車場になってしまった。親父申し訳ない！

家を出分したこと、高田は私の記憶の中から遠ざかって行くはずだった。ところがその後幼なじみの友に誘われ、つき合いのつもりで入ったＪネットが、私の郷土意識を強烈に自覚させることに

年齢的に「故郷忘れ難く候」という時期になつたのかも知れない。物的なしがらみが無くなつて、反つて愛着の念が強まったのかも知れない。例会でなじみになつた方々と酒を酌み交わすと、雁木通りが無性に懐かしい。

それで先日「Ｊネットの理事に欠員が出たから君なつてくれ」という電話に気安く返事をしたのだが、役員の名簿を見たらどなたも立派な経歴・肩書の方々で、経歴は言わずもがな退職後町内会の他は肩書き無縁の我が身を振り返つて、身の程知らずの役を厚かましくもお受けしたものかたと後悔しきり。

厚かましいと言えば、今関係している団体で一番公共性のありそうなのが、災害ボランティアコーディネーター三島という団体で、私はその事務局長をして

いる。自分が助けて貰う側になりそうな歳でこんな役をやっているのだから厚かましさに於いて理事といい勝負。とにかくお引き受けした以上は何とか会と郷里のお役に立ちたい。Ｊネットの智恵とアイデアが郷里上越活性化の応援団としての役割を果たせるよう願っている。



新理事に選ばれて

(社)上越青年会議所理事長 上野 猛(上越市在住)

私たちは年間の目標そして長期ビジョンを達成するために自ら率先して行動し、この「くびき野」地域が今以上に明るく豊かなまちになるように活動していきます。どうぞこれからもご支援いただけますようお願いいたします。

(社)上越青年会議所第四十一代理事長 上野猛です。

当青年会議所は新上越市が主な活動エリアであり、現在百二十名の会員が所属しており様々な委員会で活動しています。まちづくり・研修・国際・会員交流等七委員会一特別委員会で構成され、委員会独自の目標を持って一年間活動しています。

本年度の当青年会議所のスローガンは「新たな挑戦！進化と継承そして子供たちのために」です。「子供たちのために」はそれぞれの委員会活動の目標を子供たちに向けて活動しようと考えたものです。

私たち(社)上越青年会議所は、三十年後の「くびき野地域のビジョン」を策定しました。「美しきふるさと・信頼あつ

人々」です。「美しきふるさと」を創造するのは私たちであり、三十年後にこのくびき野において、まちづくりのリーダーとなる子供たちです。

その子供たちに、「夢を描くこと」の大切さ「夢を描き」「自ら行動し」「起きた結果」への「達成感」を体験してもらえよう。行動を起こすことが必要だと考えます。また、それに付随する「義務」や「責任」を感じていただきたいと考えます。また、私たちJCMメンバーが一緒に体験することによって、私たちも新たな気づきを得ることができるでしょう。そして、メンバー自身の資質の向上にもつながるでしょう。多くの子供たちが、その体験を通して「信頼あつき人々」になることが、ビジョン達成のプロセスであると考えます。



議事と平成十七年度事業内容

議事（六議案承認されました）

- 第一号議案 平成十六年度事業内容
- 第二号議案 平成十七年度決算報告
- 同監査報告
- 第三号議案 平成十七年度事業計画
- 第四号議案 平成十七年度予算
- 第五号議案 規約改正
 - 主改正 正誤は会員資格「上越市以外に住」を「上越市出身及び上越ゆかりのある個人」に改正
- 第六号議案 役員改選
 - 長く会長を勤められた太田四郎さんが相談役になり、四人の退任と新任が決まりました。

- 会長 太田四郎 → 和久井博
- 副会長 今井勇 → 勝島敬明
- 理事 今井一孝 → 杉巨武
- 理事 福島信之 → 上野猛

平成十七年度事業計画

- 一 会員募集事業（目標九〇〇人）
 - (一) 規會員の募集
 - ・新上越市発足に伴う、各区域人会等の積極的働きかけ
 - ・役員、運営委員の定期的勧誘活動
 - ・高校同窓会への勧誘活動（総会等への出席）
 - (二) 平成十六年度会員の継続加入の推進
 - ・複数年入会会費前払い制度による勧誘
- 二 広報事業
 - 新上越市の紹介の充実
 - (一) 「広報しよんえん」の発送：月一回（日曜、十五日曜）
 - (二) 「ネットだより」の発行：月一回発行
 - (三) 「ネット会報」の発行：年一回発行
 - (四) 「ふるさとカレンダー」（二〇〇六年版）

の発行：十二月
 (五) イベント情報チラシ、特別賛助会員からのお知らせを送付

- (六) ホームページの充実とリンクの拡大
- ・各同窓会、郷人会の日とネットワーク化を図る。
- ・個人アドレスを貼る会員を募集する。

三 交流事業

- (一) 第九回ふさと交流会
 - ①期日 平成十七年四月八日（金、九日）に観校会
 - (二) ネットサロノ開催
 - ア) 東京地区
 - ①開催日 毎月第二水曜日（運営委員会開催日）
 - ②会場 運営委員会事務局（株）社会システム研究所内
 - ③参加費 一、〇〇〇円
 - イ) 東京地区以外
 - ①大阪サロノ（十二月予定）
 - ②名古屋サロノ（九月予定）
 - ③その他 各地区の自主開催に対し、ネットから一人あたり一、〇〇〇円の助成金
 - (三) ふさと上越のどい（新規）
 - ①期日 七月十六日
 - ②参加者 新上越市に関係するふさととそでの交流

四 総会等開催事業
 (一) 総会

- ①開催日 平成十七年五月二十八日（土）午後二時から
- ②会場 アルカテイ市谷
- ③出席者 役員、会員、来賓、市関係者
- ④内容 平成十六年度事業・決算報告、平成十七年度事業計画・予算ほか懇親会、ふさと寄席

(二) 理事会の開催

- ①開催日、会場及び内容
 - ◇第一回 平成十七年五月二十八日（土）アルカテイ市谷
 - 平成十七年度総会議案審議ほか
 - ◇第二回 平成十八年一月
 - 平成十七年度事業中間報告、平成十八年度事業計画案ほか
- (三) 運営委員会の開催：毎月
 - ①開催日 原則毎月第二水曜日
 - ②会場 運営委員会事務局（株）社会システム研究所内
 - ③出席者 運営委員（十一人）
 - ④内容 個別事業計画審議ほか
- 五 ふさとこのまちづくり支援
 - (一) 各種委員会への参画
 - (二) 文化講演会（第二回理事会開催時）
 - (三) ふさとこ越後大使事業
 - (四) 棚田オーナー事業への参加

平成17年度 ふるさと上越ネットワーク予算

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

■ 収 入

科 目	16年度決算額	17年度予算額	差引増減	内 訳
会 費	2,353,000	2,940,000	587,000	・個人会員 @3,000×800人 900人 @2,800×100人 ・特別賛助会員 @50,000×5団体
負 担 金	938,000	1,330,000	392,000	・総会参加者 @5,000×100人 ・文化講演会負担金@5,000×50人 ・ふるさと交流会参加者 @10,000×30人 ・ふるさと上越のつどい@5,000×50人 ・特別感謝会員郵送料負担金@10,000×3
交 付 金	4,000,000	4,000,000	0	・市交付金
繰 越 金	2,004,285	1,404,228	△600,058	
雑 入	98,448	774	△98,674	・預金利息等
合 計	9,394,733	9,675,000	280,267	

複数年入会費預り金	複数年入会員141人(18年度以降)	1,012,100	収入に見込まず別会計として管理
-----------	--------------------	-----------	-----------------

■ 支 出

単位:円

科 目	16年度決算額	17年度予算額	差引増減	内 訳
広 報 事 業	4,150,402	5,385,000	1,234,598	
会員募集事業	428,729	900,000	471,271	・入会募集チラシ印刷代 250,000 ・会員証印刷 200,000 ・消耗品など 200,000 ・通信運搬費(郵便物・メールなど)250,000
広報事業	3,721,673	4,485,000	763,327	・会報印刷 800,000 ・市広報購入(月1回/A4版) 900,000 ・カレンダー印刷 900,000 ・レターヘッド印刷(会報用紙) 85,000 ・封筒印刷 200,000 ・配送料 1,500,000 ・その他 100,000
交 流 事 業	813,941	1,390,000	576,059	・ふるさと交流会 400,000 ・ふるさと上越のつどい 500,000 ・地方サロン 300,000 ・棚田事業、その他 190,000
ふるさと支援事業	786,304	800,000	13,696	・講演会等事業費 500,000 ・ふるさと大使事業 300,000
総会開催事業	1,087,833	1,100,000	12,067	・理事会、総会開催費 900,000 ・旅費 179,000 ・通信費等 21,000
事 務 費	1,151,827	1,000,000	△151,827	・通信費、手数料、消耗品など 100,000 ・運営委員会事務局費 900,000
繰 越 額	1,404,228	0	△1,404,228	
合 計	9,394,733	9,675,000	280,267	

ふるさと寄席と懇親会

総会終了後、直江津出身の落語家滝川鯉橋(タキガワリキョウ)さんのふるさと寄席を楽しみました。鯉橋さんは直江津駅前にあったラーメン屋「来々軒」出身で、春風亭鯉昇(現滝川鯉昇)に入門、今は二ツ目に昇進、真打ちを目指す三十四才の若手芸人です。

ふるさとの話をまじえた落語的な自己紹介の後、古典落語「とき蕎麦」で笑わせてくれました。

懇親会会場では各区(旧町村)のイベントや美しい風景写真をパネルで紹介致しました。また各区の特産品、美酒も陳列しました。

太田会長の乾杯、相談役榊原家当主榊原政信さんの挨拶で懇親会のスタートです。郷土の美酒とおつまみでの立食パーティです。アトラクションとして全員参加の恒例の抽選会、利き酒コンテスト、

ジャンケン大会などを取り入れました。因みに景品は一等が「くわどり湯つたり村宿泊券」、「天日米こしひかり五キロ」、ふるさとの銘酒など。参加者全員に柿崎区の「おらがまち柿崎生まれの安心漬」と安塚区「春谷(かすや)さんのかきもち」のお土産を用意致しました。

締めは益々元気な最長老野口相談役を囲んで春日山音頭を高々と唄い、来年の再会を約束して解散しました。



平成17年度ふるさと上越ネットワーク



17年度ふるさと上越ネットワー



平成17年度ふるさと上越ネットワーク懇



平成17年度ふるさと上越ネットワーク懇親会





郷土の偉人「前島密」

平成十六年度の文化講演会は、「人間『前島密』を語る」と題して一月二十二日東京アルカディア市ヶ谷において、「前島密翁」の研究者前島記念館事務局長樋口嘉和さんに講演を頂きました。講演終了後は、楽しい懇親会でした。

前島密翁は郵便事業の創始者であることは伝わっておりますが、新聞事業、鉄道事業、陸運会社の創立等など多くの歴史的事業に携わっておられました。

- 一、漢字廃止の建議（慶応二年）
- 二、江戸遷都を建言（慶応四年）
- 三、鉄道創設の立案（明治三年 品川 横浜間）
- 四、郵便創業（明治四年）
- 五、新聞事業の育成（明治四年、現報知新聞）
- 六、陸運元会社の創立（明治五年、現日本通運）
- 七、海運政策の建議（明治五年、現日本

- 八、郵便為替の開始（明治八年）
- 九、郵便貯金の開始（明治八年）
- 十、訓盲院の創立（明治十二年）
- 十一、勲業博覧会の開催（明治十年、第一回博覧会）
- 十二、日本海員救済会の創立（明治十三年、海員の養成、保護救済活動）
- 十三、東京専門学校（現早稲田大学）の創立（明治十五年、現早稲田大学）
- 十四、電話の開始（明治二十三年、東京 横浜間に電話の交換業務）

前島密翁の生い立ち、足跡、とりわけ母上「てい」さんとの心の触れ合いを熱く語られました。

母上「てい」さんの言葉です。

「汝不幸生後八カ月にして父を亡び、独り母の手に依て乏しき養育を受け、茲に初めて就学の道に上らんとす。真に喜ぶ

べし。請う克く健康に克く勉勵に、師教を奉じ男子足れ。誓つて父無き者との嗤を取る莫れ」

「汝若年にしてその意を決す。何ぞこれを贊せざらん、精神一到何事か成らざらん、一旦方針を定めて前進せんとす、何ぞ其の歩を躊躇せんや。このこと冒険不安な事なりと雖も、僻地に屈して成す無く、生きて益なきに勝る」

「この事たる我に損害無くして、正理有るを公表したれば、甚だ慶うべし、我は己に生計の見込み立ちたりば憂うなし、汝の苦難はこれ天与の大研究なり」

「男児苟も志しを立つ、死は素より恐るに足らず。唯注意すべきは長旅の健康なり。幸い母は貯蓄少し許りあれば之を餓せん」



続く懇親会では、野口家に伝わる前島翁の手紙の披露がありました。



人間・前島密

前島記念館事務長 樋口嘉和

前島密翁の終焉の地である、横須賀市芦名、隠居所「如々山荘」に隣接する浄土宗「浄楽寺」境内にある前島密翁夫妻の墓前において毎年、命日である四月二十七日を中心に「墓前祭」が行われてきました。

本年は、「生誕百七十年」に当たります。が、四月二十三日の土曜日、学校の周囲が満開のつつじで一杯になった葉山小学校の「つつじ祭」で賑わう快晴の葉山路に、八十人位の参会者が集まり密翁を偲びました。

さて今年、冬晴れの一月。アルカディア市ヶ谷で皆様にお会いしてからほぼ半年、あの日の事を、ついこの間のように思い出して居ります。

先日、講演の内容を中心に原稿を書くように、この依頼がありました。本当は話し言葉で表現すると、やわらか味が

出て良いなアと思いましたが…。

今回は、テーマである『人間・前島密を語る』の反省文めいた形になり恐縮です。



前島記念館のこと

最初に、『前島記念館の概要』ということで、前島記念館の設立に至るいきさつや、記念館の現況などについて触れさせて頂きました。

記念館設立の提唱者の一人である坂田増五郎さんは前島密翁の書生でした。

東京専門学校（現慶応義塾大学）の学生で、当時校長であった密翁を大変尊敬していました。

晩年、病床にあった密翁を「如々山荘」の隠宅に増田義一氏と共に見舞った際に、密翁がふと漏らした、「故郷の現況を気にかけている様子を知り、生誕記念碑の建立とあわせて、記念館設立の構想を持ったようです。

実際には、生誕記念碑は大正十一年に、前島記念館は、昭和六年に建設されますがその前、大正十五年には「前島記念池部郵便局」が坂田増五郎氏を初代局長として開局しています。

近代日本の黎明期と前島密について

西欧の先進的な国家体制や文化を吸収し「文明国日本」を創造した人物の一人としての『前島密』の存在は大きなポイントです。

その具体的な仕事として、近代国家の必須条件である「通信・交通の基盤」を



造り、また「教育」や「国語国字の改革」「租税」「産業育成」等の幅広い分野で「国のかたちの基本」を作り上げた事をお話しました。

密翁の生い立ちについて

「偉人」と言われる人の生まれ育った環境や人間関係は、ことに人格形成の上で、幼年期から青年期の在り方は大変重要で興味深いことでもあります。

特に、母「てい」さんの人間教育の素晴らしさ、前島密を「巡る人々」との関わり、「人間・密」の人生観などに触れました。ただ、母親「てい」さん、についての細かなお話しは、自叙伝から起こした「プリント」を見て頂くに止まって終いました。

実際、自叙伝には「この起る都度」

『母の言葉』として、綴ってありますが：『汝は：』と言った調子で、言葉で聞くより「目で見て頂いた」ほうが解りやすいかな、と考えた部分もありました。

幼名を「房五郎」といった七歳から十歳の間を糸魚川で過ごした少年時代、糸魚川藩医であった叔父の相沢文仲、初歩の漢方医学などを教えた同藩の医師銀林玄類、漢詩・俳諧・書・絵画などのほか、山野の自然に親しみ「年少にして少しく風流の味を解」と、手ほどきを受けた糸魚川藩目付役の竹島俊司(殺山)。茶道を習った直視院の老和尚など、人と人の触れ合いの環境があった事は、当時の少年としては大変恵まれた幸せな事だったと思われず。

前島密の足跡について

激動の『につぼん創成期』とも言える時代の中で活躍した、前島密翁の「主な業績」を、メインテーマとしてお伝えするところでしたが、業績などを納めたリーフ「前島密一代記」に説明の多くを譲ってしまい、中途半端になってしまっただと思っています。

「巻退蔵」という名前前で過ごした勉学時代の仕上げ段階で、長崎から鹿児島島の薩摩藩に赴き、その地における、英語教授を発端とした小姓組としての「薩摩藩士

登用」を断つてまでも、自らの信念に基づく行動を取ったこと。そして幕臣時代(駿河藩)の漢字御廃止之議、建言に見る国事国語への取り組み、江戸遷都論の建言に見る国字国語への取り組み、江戸遷都論の建言に始まる、「先見性」ある行動力。また、維新政府に入ってから約十四年間にわたり造り上げ、実現して行った様々な業績は、まさに目を見張るものがあります。

人間「前島密」の魅力は何でしょう

前島密の人となりは「：忠実で、果敢で、廉潔で、趣味は博かった」と、生誕記念碑の碑文にあります。原文は会津八一、坪内逍遙が監修し、市島春城が撰文しました。

先見性に基づく大局を論じ、卓越した経験抱負の持主で同時に多面的な対応のできる人であった。清廉潔白な政治家かと思えば、大商人ともいえるような経済感覚も持ち合わせた人であった。と言われています。



「ふるさと越後大使」の活躍

杉置 内藤 實（本町六丁目出身）

Ｊネットふるさと越後大使が誕生して
丸一年過ぎました。

大使の皆さんの各方面での活躍をご紹
介致します。

昨年五月の総会で四十五名の希望者に
市長より越後大使の名刺をいただき、積
極的に上越市のPRをお願いしました。

前々回の十七号会報でも大使の使命を
ユーモア交じりの十五ヶ条で示しました
が、難しいことは何もありません。あれ
から満一年が経ち、更に三十名の方に参
加して頂き、現在は七十五名が名刺を
持って活躍しておられます。会員総数が
約七八〇名ですから、会員十名に一人は
大使です。

私も名刺のお陰で「大使さん」と呼ば
れるようになりました。

お城と桜がデザインされた名刺なら、
「大使」の名称より「江戸家老」の名称の



方が粹ではないかと助言する人もいます。

名詞一枚で楽しい話し合いが進みます。

皆さんも是非お仲間に入ってみませんか。
名刺にまつわる話題は尽きません。

Ｊネットの会員は皆さん誰でも「ふる
さと越後大使」になれるのです。

大使の申し込みはＪネット事務局（上
越市役所企画政策課）で扱っております。

ふるさと大使

伊藤 紀（南城町出身）

この名刺は、どなたにも笑顔で渡せる
し、笑顔で受け取っていたけます。お
客さんと商談が途切れそうな時には効

果があります。話が弾み、雪国の新緑、春
の夜桜、夏の蓮の花となります。そして、

次の訪問の時は必ず私を「越後大使」と
して迎えてくれます。

仕事中でもほっと一息つける名刺でも
あります。名刺が縁でご近所の夫婦をお
招きしたりしました。ふるさとを離れ、忘
れていた上越を思い出した始めたのは越後
大使に任命され、この名刺を持ち歩くよ
うになったからだと思います。

ふるさと大使

勝島 敏明（天王町出身）

Ｊパワー（電源開発）の監査役として、
奥只見に行った折の大湯温泉での会食の
席上での「越後大使」の活躍を披露しま
す。

「私は大使」ですと名刺で説明すると、
春日山城・高田城・お米・お酒に話題が
尽きず、十三町村の合併にまで及び、市
の形状は恐竜の頭と説明して笑いを誘い
ました。

名刺の城をバックにした桜の絵模様は
好評でしたが、裏面は活字が小さくて文
章が長いのが不評でした。大きな字にし
て名産品や銘酒はどうでしょう。

郷土の宣伝に名刺は大いに役立ってい
ます。





ふるさと大使

金沢 一男（大町五丁目出身）

府中市内の会合や毎月のTBSの遊学舎サロンで名刺を配っています。

遊学舎サロンでの出来事。設計事務所
の建築士が「上越市大町五丁目の今井ア
ティックの新装開店に行ってきました。
私が設計しました」と言われて、よく話
を聞きましたら、私の大町五の家の斜向
いで、びっくりしました。

今井アティックはJネットの前理事の
今井一孝氏の妹さんの今井久美子さんの
店です。今井さんの今井染物店の建物は
市の重要文化財指定)

ふるさと大使

寺澤 実（南町出身）

越後人としての誇りを持って名刺を活
用させて頂いています。会合・商談の席
で、名刺の所以を聞かれて説明するこ
ろからよいドン。自慢且つ得意気に謙
信！上越一の歴史・文化・産業・特産品
について知る限り立て板に水の如く話し、
それが口火となり同席メンバーが出身郷
土の自慢話となります。戦国大名が次々
に登場して今昔国取物語に一変します。
効果的で仲間も増えました。

しかし、説明の機会が増えるにつれて
「越後」のことが自分自身あまりわかって
いないことに気がつきました。大使の名
に相応しい人物になるように研鑽した
と思います。

遅ればせながら、謙信を勉強し、謙信
への熱い思いを益々強くしました。

越後人としての「誇りと気高さ」を大
切に先人先輩に感謝しつつ「越後発！世
界に飛び出せ！」を信条に越後の輪を広
げていきたいと思えます。



ふるさと大使

和久井博（幸町出身）

私は、仕事柄各種のセミナーやシンポ
ジウムに参加する機会が多くあります。
そんな時、二十年以上も前から親しくし
ている大学の先生や会社役員の方にお会
いすることがありますが、改めて名刺交
換などということをしないうままに時が過
ぎて、会社には黄色く変色した古い名刺
が残っています。

そんな時、ふるさと越後大使の名刺は
役に立ちます。「先生、実は私、最近この
ような名刺持っています。」と名刺を渡し
ますと、「へえー、面白いですね。」といっ
て、自分の名刺をくれます。改めて名刺
をもらうと、所属や肩書きが変わってい
るのがわかります。そして、古い名刺の
更新が進みます。

また、先日、仲町のスナックへ行っ
たとき、「お名刺いただけますか？」とママに
言われたので、大使の名刺を出しました
ら、「あら、この名刺ももらったことがあ
る！」と。駄目ですよ。大使の名刺を仲
町で配っては。

ふるさと大使

佐藤 静子（大日出生）

昨年の総会で名刺を手渡されて、その
美しさ立派さに感激し、身の引き締まる
思いがしました。この三月に定年退職し、
ちよつと寂しいのですが、会う人ごとに
名刺を渡し、「上越」のPRをしています。
外出の時は名刺だけは忘れないように確
認しています。

今は種子を播く時期と心得て、必ず成
果があると確信しています。



農業体験 田植え

上屋市役所「Jネット」担当 栗本ヒロミ（島田出身）

Jネット会員の皆様はじめまして。本年四月から本庁事務局でJネットを担当しております栗本と申します。よろしくお願ひいたします。

去る五月十五日にJネットのふるさと
のまちづくり支援事業であります農業体
験田植えに参加しました。桑どり湯た
り村駐車場に集合し、それぞれの車で田
んぼへ移動。途中小学校の運動会を見な
がら山へと進み現地に。そこは、閑静な
山あいウグイスの鳴き声が聞こえるの
どかな所。この日は、曇りもなく、寒く
もなく作業するにはちょうどよい曇り空
でした。今年Jネットで一区画を借り、和
久井会長（写真撮り）及び田植え作業本
庁職員三名うち二名は田植えのプロ、一
名初体験）が参加しました。

はじめに、農業体験参加者の自己紹介



がありました。次に田んぼを世話してく
ださる曾我さんから、苗のとおり方、持ち
方、植え方等についてご指導いただき、い
ざ田んぼへ。曾我さんから丁寧なご指導
いただいたにもかかわらず、苗の植え方
は自己流。苗は多く、植え方が深い。毎
年実家へ田植えの手伝いに行きますが、
（実家は機械植えです。機械が田んぼの中
へ出入りする場所一角を手で植えています。
）いつもこのような植え方をしてきま
したのでなかなか変えることはできませ

ませんでした。こんな植え方でもこれまで実
家の苗は順調に育ちましたのでJネット
の苗も多分大丈夫でしょう。（これでは田
植えのプロとはいえませんが）今年も、
一区画だったので作業は早めに終わり、
お昼まで周辺の散策をしました。

お昼は、事前に予約していた特性お弁
当。何が出てくるのかこの時を楽しみに
していました。それは、手作りの梅干入
りおにぎり、幻魚の焼き物、三菜料理で
地元のお母さんが作ってくれたものでし
た。道端に腰を下ろして作業をした皆さ
んと一緒に食事をするのはおいしさが倍
増します。お皿が足りず大きな葉っぱを
取ってきてお皿代わりにし三菜を盛った
り、皆さんとは初顔会わせなのに何とも
言えぬ温かい雰囲気になりました。こ
ども達も自然のなかで大はしゃぎ。たっ
た数時間の農業体験のなかでいろんな方
と交流を図ることができました。

日頃閑静な山あいも田植えが終わわり、
今はカエルの大合唱でにぎやかになっ
ていることと思います。

緑の苗が黄金色の変わる時、今度は
稲刈りです。天日干しということで、は
さがけをします。Jネット会員の皆さん。
農業経験のある方もない方もふるさとで
稲刈り・はさがけ体験一緒にやりませ
んか。秋に皆さんとお会いできるのを楽
みにしています！



ふるさと棚田オーナーの 田植え体験

東京農業大学助手 松田恭子

今年も昨年に続きふるさと棚田オーナーに参加させていただいております。

この一年、東京農業大学の研究チームの一員(下つ端)として桑取地区に度々調査でお伺いするようになり、少しずつ地元の地理が分かるようになって来ました。

一年前といたら、湯つたり村までの県道から入る脇道はどれも皆同じように見えて、大洲の棚田に行くにもどこから入ればよいのかわかりませんでしたし、田んぼも棚田オーナーの所以外は全く見分けが付きませんでした。何せ棚田でするので、周りの目印を見たり広く見渡すという事がなかなかできない所も多いのです。地元の方が田んぼの地図だけを見て、「こここの田んぼは誰々さんの田んぼ」と全て頭に入っているのには驚愕でした。さらに言えば、ほとんどペーパードライバーだったため、湯つたり村までの舗装

の良い県道でさえもおっかなびつくり、時速四〇kmで走っていました。

この一年で、桑取での車の運転にもようやく慣れ、集落の名前の並び順もだんだん覚え、あの大洲の棚田にある「はさがけ」も慣れ親しんだ風景となりました。子供の頃引越しをした時に比べると土地になじむのに時間がかかるようになりましたが、それでも一年前に比べると分かるようになってきているのだなあと、変化を実感しています。



しかし、肝心の田植え体験はまだ二回目。去年は大洲で四角い田んぼを共同で使いましたが、今年をあえて整備されていない中ノ俣の棚田を希望してみました。大洲に比べてメンバーは少なめでしたが、吉川から来ている方もいて、上越市合併の広がりを感じました。初めての顔合わせでまだじっくりお話を聞きするところまではいきませんでした。これから収穫までの作業を通じて楽しくやっていきたいと思えます。

大洲と違い、一人で一つの田んぼ。作業の良し悪しが明らかになってしまいそう、責任重大です。昨年おすそ分けしたお米は、「子供に分けたら、お母ちゃん、あのお米おいしかったあ。と電話がかかってきて。」と言っていたきました。こう言われると今年も贈らなくて、と思ってしまうすねー雨が降らなかつたり土砂降りになったり心配なこの頃ですが、今から収穫が待ち遠しいです。



棚田オーナー Jネットの田植え

多摩市 和久井 博（幸町出身）

上越市が数年前から「楽しい農業体験」として、棚田オーナー制を推進しており、Jネットも「協力しましょう。」ということとでこれまで参加してきました。Jネットの会員が交互に「田植え」や「稲刈り」に参加し、文字通り、「楽しい農業体験」を経験しようというものでした。昨年は、三区画のオーナーになったのですが、スケジュールの関係で、ほとんどの人が参加できず、市の方から「今年は一区画で良いですね。」と念を押されてしまった次第です。

そして、今年の田植えの日程が決まったのですが、また、誰も参加できないということでした。私は、ちょうど松本での用事があったので、前日上越市で田植えに参加することになりました。東京から車で前々日上越へ行き、同行した友人を清里の坊々池へ案内したついでに、

清里JAの近くの雑貨屋さんで田植用の長靴を調達しました。立派な長靴でかなりの深い田んぼでも大丈夫な上物で五千円でした。友人は、「田植え用の長靴より、直接お米を買った方が安くつく」と笑っ



ていましたが、確かに今後十回以上田植をやらないと元がとれない計算です。翌日、朝早く、湯ったり村へ行き、時間に余裕があったので、周辺の散策をしました。まだ少し雪が残っており、山菜採りのグループが急な斜面を下っていくのが見えました。しばらくして、集合場所へ戻り、全員そろった所で、棚田へと向かいました。

実は前夜、松本から電話があり、予定の時間を早めるとの事だったので、私は折角の長靴だったのですが、田植えには参加せず、皆様の田植の写真を沢山撮って、早目に棚田を後にすることになりました。

写真を撮っている時に、参加者の一人から「和久井さん、久しぶりです。」と声をかけられました。日焼けした顔を良く見たのですが、思い出せませんでした。名前を聞いて判ったのですが、彼とは四十年以上も前に非常に親しくつき合っていた高校の後輩で、高校で英語の先生をしているとは聞いていましたが、今は定年で農業を楽しみながら悠々自適の人生を送っているのだそうです。

こんな楽しいハプニングは人生を素晴らしいものにしてくれます。

Jネットの皆様、是非、棚田へ行きましょう。きっと何か良いことがあります。



春のふるさと交流会



まだ開いていない売店



三重やくら



今年のイベント 人力車

恒例となった春のふるさと交流会、高田城址公園での観桜会は四月八日〜九日に開催致しました。ご夫婦四組を含む参加者二十八名、遠くは名古屋からお越し頂きました。

長野新幹線で碓氷峠を越えると残雪が見え始め、信越線新潟県境は一面の雪で覆われていました。今年の開花は遅れているのは承知ですが、これ程までとはと不安です。

二日目は名立区近辺の見学です。車中での見学を聞きながら最初に訪れたのは

集合場所の「Jネットの桜」はもとより三千本の桜も堅い蕾でした。寒さを感じるほどの気温ではなかったのが救いました。

地元の方々手作りの山菜料理をつまみに上越の美酒を満喫し、早めにバスでお宿に向かいました。新上越市の最初のお宿と散策の場所に選ばれたのは日本海一望の素晴らしい施設『うみてらす名立』の「光鱗」で、お花見宴会の続きのスタートです。夜桜見物を中止し飲み足りなかったのか全員参加の盛り上がった宴会になりました。

は遠く能登半島、佐渡島まで見渡せる「鳥ヶ首岬灯台」(昭和二十七年開設)、シーズン中はボブスレーを楽しめるサイドパーク名立(ここでは今カタクリとスミレが満開でした。そして山を登ること一時間、越後三十三番札所中の一番札所「岩屋堂観音堂」(注一)を見学、詳しい説明を受けました。続いて日本一の薬草工場(注二)見学後、『うみてらす名立』で海の幸の昼食を満喫して直江津駅、高田駅へ向かい解散致しました。花は無くとも実りある二日でした。

(注一)
岩屋堂観音堂 創立大宝二(七〇二)年、秘仏聖観世音菩薩(鎌倉期)を本尊として今日まで受け継がれております。鎌倉時代執権北条時頼がその霊験にうたれて越後三十三ヶ所観音霊場の第一札所に定めました。観音堂におおいかがざるような大石や自然石を敷いただけの参道は神秘的な魅力でいっぱいです。

(注二)
薬草の製法 (南佐藤竹右衛門商店 葎と共に刈り取られた原料のヨモギまたはオオヨモギの葉をむしり取り、三日程天日干しし、更に乾燥室で水分を減らし、石臼で挽き、モグサになる部分(葉裏の綿毛)をふるいにかけて分離する。



ひさしぶりです



宴たけなわ



木浦市長の歓迎のあいさつ





名立「光鱗」での二次会



名立「光鱗」での二次会



名立「光鱗」での二次会



名立「光鱗」での二次会



岩屋堂観音堂



越後第一番札所観音堂の説明



岩屋堂石仏



藻草製造の説明

新・上越のみどころ

特定非営利活動法人 理事長
女性みらい上越

野本 幸（上越市在住）

十四市町村の合併でできた新生上越市は、多くの日本の原風景が加わり、よりいっそう魅力がアップしました。全国有数の農業都市・上越をたずねてみましょう。

昔、ぬか釜で炊いたご飯が、一番おいしかったという話をよく聞きます。ぬか釜って何？ 米ぬかでご飯？ と安塚を訪れると、もみがらを燃やして炊く昔ながらの全



自動炊飯器具を発売。「小さな空」といって雪むろそば家では「ぬか釜におにぎり」を百円で

食べることが出来ます。毎日おいしいご飯を食べている私でさえ、棚田とブナ林を見ながらゆっくり食べるふつくらとおいしいごはんには感動です。



郷土料理を食べながら雪見酒を飲むなら、どぶろく特区第一号の牧へ。かやぶき屋根の「ふるさとの家」で飲む酒は格別です。吉川や三和など、上越は米とこの酒どころ。蔵元は十六になりました。蒲川原のコシヒカリアイスはぜひ一度ご賞味ください。



地場産の食材、名物料理に代表されるスローフードは、体験と一緒にすることでいっそう感動を生みます。新上越市は、田舎体験の先進地。大島など中山間地では、ホタル鑑賞、棚田での田植え、稲刈りやはさがけ、アケビつる細工、そばうち、笹団子づくりと、農林業体験、伝統

工芸、味覚体験、雪国体験と豊富なメニューがお出迎え。民宿に泊まって翌日は田舎体験というコースもおすすめです。海が好きな方には、これからの季節は、四十一キロに及ぶ海岸線をドライブしてはいかがでしょう。大潟や柿崎では地引網ができ、浜で魚介類たっぷりの海賊汁を食べることができます。谷浜、直江津、鶴の浜、柿崎川西、柿崎中央の五つの海水浴場で見ると夕日は格別です。その後は、市内三十六箇所もある温泉へ。どこを選ぶほうが迷ってしまいますね。

歴史を訪ねるなら、親鸞聖人ゆかりの旅。上陸の地から居多神社、五智国分寺、浄興寺から、板倉にある親鸞聖人の妻・恵信尼公廟所もぜひ足をお運びください。

新しい魅力が加わった上越では、市民の人なつこい笑顔と方言、そして元気が加わり、上越を離れて暮らす皆さまの心をきつと癒してくれることでしょう。



新・上越観光マップ

京都を中心とする文化は越前、越中、越後に伝わった。そして越後の中心上越は、北陸地方の政治・経済・文化の中心的役割を担っていた。花ヶ前さんの講演でも「本来県都は上越にあるべきだった」と言われている。

上越は、観光資源の宝庫であるといっても過言ではないくらい史跡があり、歴史を動かした人物が居た。今回は、合併で新しく入ってきた地域を中心に観光見どころを手元の資料で整理してみた。



直江津から車で三十分、国道二五三号の分岐点にキューピットパレイイの案内板がある。安塚は、雪国の自然が最もマッチした所かも知れない。「雪と人と自然が調和する公園の町」がキャッチフレーズである。都会では見つけられなかった自分の居場所がここならきっと見つかるに違いない。そして、何といっても温泉である。ゆつたりできる癒しの宿が待っている。

肌が雪のように美しくなるという…
その名も「ゆきだるま温泉」



【雪の湯】キューピットパレイイエリアの雪だるま温泉「雪の湯」。妻ヶ岳山麓に湧出する天然温泉を引き、泉質はナトリウム・カルシウム塩化物泉。100人が入浴可能という県内最大級の浴室のほか露天風呂、サウナが備わっています。なにより、浴槽の窓から正面に望む妻ヶ岳の雄大な眺望が、リラクゼーション効果絶大。館内には食堂や売店、ゲームコーナーもあり、家族で1日ゆっくり過ごせます。

安塚区須川 4820
TEL 025-593-2241 FAX 025-593-2745
<http://www.yukidaruma-kogen.com>

キューピットビレッジ

cupid village

夢をはぐくむおしゃれなコテージ



久比岐野

kubikino

楽しい仲間と語らいが弾む



田舎屋

inakaya

人と自然の交流拠点



清流と山菜の郷のリフレッシュゾーンです。和室、洋室を選べ、総檜づくりのお風呂がヒーリング効果抜群。多目的ホール、コミュニティホール、写真暗室、草木染室などの設備も充実し、山里体験の拠点に格好のロケーションです。社交ダンス、コーラス合宿向けのホールも完備。収容人員40名・8室(和5、洋3)
住所:安塚区朴ノ木418-2

TEL 025-592-2300 FAX 025-592-2308
URL <http://www.yukidaruma.or.jp/town/syukuhaku/inakaya.html>

上越市（直江津）から国道二五三号で約三十分、かつては、東頸城へのアクセス拠点であった所にほくほく線浦川原駅がある。更に行くと虫川の交差点にさしかかる。この近くにある千年杉と呼ばれる「虫川の大杉」は、一見に値する。

みどころ



湯ヶ淵温泉
ゆあみ

古くから地元の人達に愛されてきた霧ヶ岳温泉。緑に囲まれた温泉施設「ゆあみ」は、しっかりと落ち着きのあるたたずまいです。大浴場、サウナ、レストラン、売店、楽しいアスレチック広場など設備も充実しました。

■うらがわら駅下車 バス10分
■虫川大杉駅下車 タクシー5分



泉質は単純硫黄冷鉱泉で、特に慢性皮膚病、婦人病、きりきり、糖尿病などに効果があります。肌がすべすべになります。
※無料の備え付けタオルをご利用ください。



のんびり、ゆったり、うらがわら紀行

虫川の大杉

通称「千年杉」と呼ばれるこの大杉は、1200年と推定される樹齢の持ち主。高さ30メートル、樹張り最大25メートル、目通り（周囲）10.6メートル。堂々とそびえ立つその大杉は国の天然記念物に指定されています。

■虫川大杉駅下車 徒歩5分



顕聖寺

応仁の乱の始まった1467年に開山した曹洞宗のお寺。閑寂な境内はかつて竜神の棲む池という伝説が残っています。樹齢数百年の杉の木立に囲まれて、今なお神秘的な趣をたたえています。

■うらがわら駅下車 徒歩5分



木の里



「木を愛し、木から学ぶ」をテーマにした、木工芸が中心の自然体験ゾーン。天然木加工とホームスイパンの工房、展示室のほか、各種木工芸のセミナー教室なども開かれています。

■うらがわら駅下車 タクシー5分

直江津から国道二五三号を蒲川原を通り更に行くくと大島地区に出る。隣は松之山、松代であり、ここは合併で十日町市となったことから、上越市と十日町市が隣接することになった。大島地区は上越市の最も東に位置することになる。見どころは多い。高蒲高原は「日本のチロル」と言われるだけあって、見事な眺めである。食・遊・学と色々な楽しみがあるようだ。

●山菜・せのご加工品

●まいたけ

●米こぼり

●酒造「雪の舞」

●日本一のトコロナン

●じねんじょ

●手ねり鉢

●あびつる織工

●花苗

名物名鑑

Meibutsu Meikan

厳しくも美しい環境と豊潤な大地に育まれた大島村には、豊かな自然の恵みがいっぱい。新鮮な山の幸をはじめ、深い雪の中で仕込まれた芳醇な地酒、風味豊かなそばなどは、懐かしい故郷の味を伝えてくれる。また、丹念な手作業で心を込めて仕上げられた工芸品も自慢のひとつ。素朴な懐かしさとぬくもりに心温まる。

イベントカレンダー

Event Calendar

- 1 ●鳥追い(1月14日)
- 2 ●さいの神(1月15日)
- 3 ●雪ぼたるロード(2月下旬)
- 4 ●高蒲高原開き(4月下旬)
- 5 ●秋葉山ちょうちん行列(4月29日)
- 6 ●高蒲高原山菜まつり(6月第1日曜)
- 小海池湖水まつり(6月第1日曜)
- 雪まつり(6月下旬~7月上旬)



秋葉山ちょうちん行列



高蒲高原山菜まつり

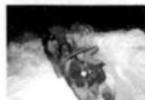
- 7 ●はたるコンサート(7月第1土曜)
- 高蒲高原あやま祭り(7月中旬)
- おしま夏まつり(7月最終土・日)
- 8 ●高蒲高原夏まつり(8月中旬)
- 9 ●高蒲高原そばまつり(10月最終日曜)
- 10 ●農業祭(11月3日)
- 11 ●きよこの夜の里コンサート(12月中旬)



おしま夏まつり



きよこの夜の里コンサート



鳥追い

高田から国道四〇五号を東へ走り、岩の原葡萄園を過ぎると、牧区に入る。宮口古墳群に隣接して歴史民俗資料館がある。また、新潟県の名水の一つに選ばれている弘法清水がある。弘法大師が親切だった老婆にお礼に独結で地を突いて水を湧き出させたといわれている。牧地区は食べ物豊富でスローフードを楽しめる。何故かキムチも多い。

湯の里 深山荘

泊まる



緑豊かな自然に囲まれた村内唯一の温泉宿泊施設。かあちゃんたちが笑顔でお迎えます。ごゆっくりお過ごし下さい。

新潟県東頸城郡牧村宇津俣285番地
TEL.025-533-6785 FAX.0255-533-5356

ふるさと村自然と憩の森 憩う



大自然と懐かしいふるさとの味を満喫しませんか。ぜひ、足をはこんでお出かけ下さい。

新潟県東頸城郡牧村池田2 番地
TEL.025-533-5603

荒川豆腐店

物産



地元産大豆100%と水にこだわって作る、豆腐・おぼろのなめらかな舌ざわりを、ぜひおためし下さい。おぼろ豆腐は全国どこへでも配送します。

新潟県東頸城郡牧村落田409番地
TEL.025-533-6502

宇津俣生産組合

物産



宇津俣地域限定産「雷 大根」は、ブナ林からの清水と高原の空気をたっぷり含んだみずみずしく甘味のある大根です。この大根を使ったジャムも大変ご好評をいただいております。

新潟県東頸城郡牧村宇津俣2631番地 1
TEL.025-533-6588

牧村米コシヒカリ研究会

物産



牧峠に群生するブナ林から湧き出る清流と、朝夕の温度差など自然条件が最高の場所で育てられたおいしいコシヒカリです。

新潟県東頸城郡牧村小川1621番地
TEL.025-533-5863

深山の里の会

物産



天水の棚田にて低農薬・有機栽培で育て上げた良質な五百万石を原料米とし、仕込水は伝説の名水「弘法清水」を使用しています。芳醇な味わいをぜひ、ご賞味下さい。

新潟県東頸城郡牧村高尾1110番地
TEL.025-533-6332

五、柿崎区

地名の由来となった柿崎景家は戦国時代に活躍した武将で、上杉謙信の配下であり、謙信より二十歳ほど年上だが、主君をもり立て、越後各地で戦って越後平定に尽力し、謙信を守って上洛にも参加している。有名な川中島での合戦では武田軍と数度戦って敵を恐れさせた。

柿崎と言えば米山が有名だが、特産品も多い。



お菓子



頸城酒造



代々菊醸造

六、大潟区

直江津の北側に隣接する大潟区は、石油採掘中に出てきた鶴の浜温泉や「夏は来ぬ」や「漁業の歌」で知られる音楽家小山作之助の出身地として知られている。古くから作り酒屋も多く、特産品も豊富である。



じゅんさい



いちじく羊かん



●鶴の浜温泉

昭和33年（株）帝国石油の資源開発により、噴出した温泉です。泉質はナトリウム塩化物泉、弱アルカリ性で、お肌がすべすべになります。

七. 頸城区

国道二五三号の海側に位置する頸城区は、広大な自然の恩恵を受けた豊かな地域である。大池県立公園やキャンプ場、日本自然学習実践センターがある。また、「酒の博士」として知られる坂口謹一郎博士の遺品や業績を展示した坂口記念館がある。



八. 吉川区

吉川区は、新潟県上越市の北東部に位置し、東は柏崎市、南は上越市大島区と上越市蒲川原区に、西は上越市頸城区と上越市大潟区に、北は上越市柿崎区に接している。北及び西にかけて平坦地が続き、東及び南側は山地が形成されており、中でも最も高い尾神岳（標高七五七メートル）より源を発する吉川、平等寺川、大出口川の三つの主要二級河川が流れ、地帯の水源をなしている。

また、標高七五七メートルの尾神岳はパラグライダーのメッカであり自然景観に恵まれており、人々の憩いの場として賑わっている。

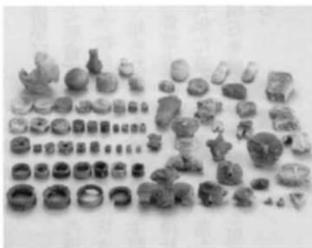
吉川は、越後杜氏の郷として有名であり、我が国唯一の高等学校醸造科があったが残念なことに昨年廃止になった。



●清酒「よれわの郷」
「よれわの郷」は、吉川町の「よれわの郷」醸造所が、酒造りに取り組んでいる。この酒は、吉川町の「よれわの郷」醸造所が、酒造りに取り組んでいる。

九. 中郷区

新井の南側に位置する中郷区は上越市を象の頭に見ると象の鼻にあたる所に位置する。豊かな田園が拡がり、昔から殿様の米蔵として良質のこしひかりを生産している。縄文時代の遺跡の密集地でもある。今から一万年前の出土品がある。



龍峰遺跡出土土製品



龍峰遺跡出土石製品



■時空のひろば



■祭祀のひろば



■誘いのひろば

十. 板倉区

上越市の東南端にあり、長野県と隣接している板倉区は、高原と田園が一带となったのどかな自然とふれあうことのできるエリアである。

標高一、一〇〇メートルに位置する光ヶ原高原は、頸城平野を眼下に日本海から佐渡・能登を眺望できる絶好の景勝地である。そこには、何故か日本中を震撼させた連合赤軍あさま山荘事件で使われた重さ一トンの鉄球がモニュメントとして置いてある。また、千数百年前に山岳仏教で栄えた山寺薬師や延命清水などがある。



十一・清里区

牧区と板倉区の間にはさまれた清里は、小学校の頃、遠足で行った坊ヶ池が良く知られている。近くには学問の神様「菅原道真」ゆかりの菅原神社や大正九年に遠い宇宙の果てから落ちて来た隕石を展示した「星のふる里館」がある。



十二、三和区

上越市(高田)の東に隣接する三和区は「米」と「酒」、それを育む豊かな自然が売物である。良く知られる雪中梅や青木の味噌など醸造文化の宝庫でもある。



写真上
米と酒の蔵外観



写真上
味の蔵外観

写真右
人気の試飲コーナー



写真下
店内

十三、名立区

直江津から五智―谷浜―有間川と海岸伝いに西へ行くと名立海岸に出る。海岸と後ろに迫る山の間の名立の町がある。

名立漁港に隣接した「うみてらす名立」は宿泊施設「光鱗」、特産物を販売している「海の楽市」、健康交流館「ゆらら」等、レストランを併用した総合レジャー施設である。また、名立駅から山の方へ入ると越後三十三ヶ所観音霊場の第一番札所の岩尾堂観音堂が神秘的なたたずまいで静けさの中に立っている。名立には山海の珍味をはじめ多くの特産品があるが、珍しいものに艾（もぐさ）があり、生産品は世界一だとか。



水揚げされた甘エビ

「うみてらす名立」

●海の楽市

名立漁港で水揚げされた新鮮な魚介類や海産物を販売しています。

長門町から東本町へ

杉並区 山岸澄子（東本町出身）

昭和五年四月、私が小学校に入る時父から「ここは長門町でなく東本町二丁目に変わるんだよ」と言われました。子供のこととて高田市の町名が全部変わるも何も分かりませんでしたし、難しい名前を覚えなければと一生懸命でした。

でも、中殿町（西城町二）の叔母さん、呉服町（本町三）のおじさん、家からは少し遠いけれど小学校の頃よく通ったお馬出し（本町二）の歯医者さんなど、古い名前の方が頭に残っていました。その他今でも頭に浮かぶのは中屋敷（東本町三）、編屋町（東本町五）、下小町（本町六）、碗屋町（本町五）と家から割に近い所、又遠足でよく通った陀羅尼（北本町二）、大手町小学校も岡島町（大手町）にあったので岡島小学校と言っていましたね。こんな事を言っても昔の名前を懐か

しんで下さる方は七十、八十才以上の方でしょう。

私が嫁いだ山岸の家は横春日町（南本町三）から尾張町（南城町一）へ大正時代に越したのでしょうか時まででも「尾張町の山岸」で通っていました。私は尾張町に嫁きましたが、主人は東京の役所勤めでしたから、すぐ東京へ移りました。その後疎開で高田へ帰り終戦は高田で迎えました。又東京へ戻り五十年ほど前から現在の杉並に住んでおります。

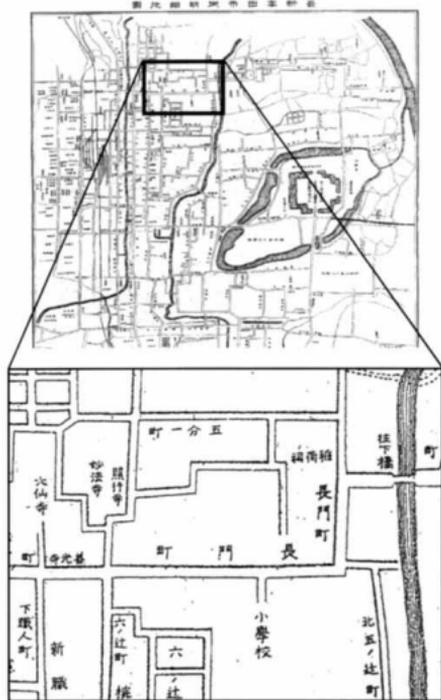
話は変わりますが、高田と言えは雪、東京に住んでいて雪が降り、その上積もったりすると私は嬉しくなってしまう。何年か前、出かける予定の朝珍しく雪が積もりまだ降っていました。私はいつも億劫になる地下鉄の駅までの道のりを、

雪を踏む足の感触を楽しみつつ、せつせと歩いたので「もう駅に着いてしまった」と駅が近くて残念な気がしました。その日集まった人達にこの話をする、「このお天気を喜ぶなんて山岸さんしかいませんよ」と笑われてしまいました。

「年をとったら高田に住みたいな」と言っていた主人も晩年にはその気力もなくなり、高田でなく、あの世へ行ってからもう三年になります。私も高田を懐かしみつつ、終生この地で暮らすことになりそうです。



クラス会旅行 右から二人目が山岸さん



城址公園お堀に纏わる 思い出

入部 山下 積（南本町三丁目出身）

高田を離れて五十四年、春になるとお堀の桜が懐かしく思い出します。

私が居た頃の外堀北側には蓮が無く、司令部通りの右側高田高校前面あたりまで蓮があり、旧商工学校前の納豆屋裏あたりに蓮根取りの舟が居ったものです。

旧商工学校も昭和十九年に商科が機械科に、漆工・木工科が建築科と土木科になり校名が高田工業高校になりました。更に昭和二十年八月の終戦で機械科が商学科に戻り高田商業高校になりました。

高田工業高校は城跡内の輻重隊兵舎を改造し移動したのですが、備品、教材、化学薬品等は全生徒が二分割して、大は勉強机小はピーカー一個持つて蟻の行列のように何日も運搬作業が続きました。学校らしくはなりませんが、講堂（体育館の床面は大小凹凸の花崗岩板張り、

正面には木製の幅六メートル、奥行三メートル、高さ一・三メートルくらいの舞台が置いてあるだけでした。正座なんてとんでもない講堂でした。方や教室と言えば二階建てで廊下を中心に左右二列で間仕切りはしてあるが天井が無く骨組が丸見えの、左右隣の音が聞こえる教室でした。卒業までに講堂は床張りになりましたが二階天井は骨組に終わりました。

それでも外堀側の教室北側の窓からは向こう側に女高校の教室を覗き見できるので、測量器具のトランシットやレベルで覗き見して胸をときめかしたものです。一方内堀側には桜花新緑下の水泳、潜りでの菱の実採りの出来る誠に良い環境でした。

とりわけ祖父山下五郎三郎が三千本の桜木の縁起に深く関わっていたことで温かく見守っていました。



（縁起については六月の「お元気ですか」に寄稿致しました。）

その後高田商業高校は南高田駅西方の旧練兵場内五八（こはち）の森あたりに新築移転しました。三千連隊が南新町から南高田町と南本町三丁目に変わりました。

浦島太郎のような思いで仲町を夜な夜な徘徊すると、昔あった料亭「ときわは戦後すぐ二階の宴会座敷を床張りにして、長押（なげし）周りの扇・梅・松・亀・瓢箪形の飾灯を赤・青・緑・橙・黄色の電球で飾り、天井にも昔の笠に色電球を付けたダンスホールに変身しました。顔が見えないほどの薄暗い部屋を米兵が出入りしておりました。

「萬粹」「新ときわ」「松月」「錦水」「富士」「八木留」等々が見当たらず、「やすね」「宇喜世」「長養館」だけが分かりまし

た。裏淫しく、景気の良い昔の夢よ今一度？と思うこの頃です。
お堀の話から変なお話になり申し訳ありません。

皆様お元気でこ活躍下さい。



古い写真 南本町小学校

浦安市 岡村博己（大町一丁目出身）

南本町小学校は本町通りを南に上ると突き当たりの奥まった所にあります。

明治二十五年に高田第一尋常小学校として創立され、今年百十四年目になる歴史のある学校です。

南本町一、二、三丁目、本町一、二丁目の一部、南城町一、二、三丁目、寺町一丁目、東城町の一部、大町一丁目、南新町を含んだ大変広い地域が学区でした。遠い生徒は二キロ以上、雨の日も雪の日も往復したのではないのでしょうか。

私が六年の時（昭和二十六年）創立六十周年の式典がありました。

来賓として大先輩山本惣治（茶町、現本町二丁目出身、日産自動車発展に寄与した財界人で、当時富士自動車株式会社社長）さんが講演されました。立派な先

輩を持つ喜びを感じたものです。このとき校歌と校章が新しいものになり今日まで続いています。

昔校門を入ると正面に二宮金次郎の銅像が見守っておりますが、前の戦争のため供出されてしまいました。戦後昭和二十五年頃に野口英雄像が建てられました。

当時の写真が見つかりましたので、ご覧下さい。

校舎は何時の頃からか鉄筋コンクリート建てになり、屋外運動場にあつた大きな松ももう無いとのこと、昔の面影を残すのは、銅像と築山だけのようです。信越線路沿いに並んで高く聳えていたさくら輝く沢山のポプラも見あたりません。

もう卒業して五十二年になります。懐かしく、寂しくもあります。

同窓の方、同じ思いの方と一緒に語りませんか。



「愛・地球博」の三ヶ月

名古屋市長

太田四郎（本町五丁目出身）

愛知万博「愛・地球博」は三月二十五日開幕、九月二十五日まで六ヶ月間の会期ですが、その半分を過ぎて、約一千万人の入場者があり、目標の千五百万人をはるかに上廻るのではないかと期待されています。

一部報道によれば、BIE（博覧会国際事務局）の最近のバリ総会で、「愛知万博は二十一世紀初の万博として、万博の新しい在り方の姿を提示し、万博の前進的な意義を改めて世界に発信した」と、愛知万博は大変成功していると称賛したと伝えられています。

この万博の新しい在り方とは、会場の建設整備運営のすべてにわたって環境に配慮していることや、国や企業が主体の従来とことなり第三の原動力として国内のNGO（非政府組織）やNPO（非

営利組織）など市民参加をうたっていることだそう。

会場では毎日いろいろな催しが各所で行われていますが、二、三あげてみます。

（一）ナショナルデーと万博外交

今回の万博では過去最大の百二十一ヶ国が参加してパビリオンに出展しているが、国連デー以外に各国のナショナルデーが百十回セットされています。その時にその国の大統領や首相、閣僚級が会場を訪れ、其々外交の場として利用され万博外交と云われています。また、万博に展示されている日本の最新技術、たとえば燃料電池や無人走行車、ロボット等に深い関心をよせ、トヨタなどの工場を訪れる外国主脳も多いとのこと。

（二）都道府県の日

各都道府県主催で設定されており、それぞれ産業、文化、観光、芸能等がPRされます。「新潟県の日」は六月二十三日（水）県知事はじめ観光協会など来場され、元気で舞います。新潟フェスティバル」がEXPOドームで開かれ、中越大地震復興支援への御礼と県民の心意気を表し、約二千人が来場して満員の盛況でした。Jリーグ「アルビレックス新潟のチアリーダーや米国際大会優勝の新潟中央高校ダンス部の凱旋公演があり、最後は全員で佐渡おけさを躍って幕、大人気でした。



「新潟県の日」新潟中央高校のダンス部 凱旋公演

（三）愛・地球博ふるさと大県人会まつり
九月三日（土）四日（日）に日本広場で名古屋地区の全国各県人会が主催し、ふるさとのおんりーわん・ナンパーワンをまつりのステージや各県のブースで紹介し、ニッポンのふるさと温かさ、魅力を世界にアツピールすることとしています。

何回か万博へ行ってみて気に入っている処はグロバルループです。万博の長久手会場はもともと「青少年公園」と云う公園でして、十三の池・四十米の高低差や緑地もそのまま残し、各パビリオンもキャンプ場や駐車場などがあつた場所に建設し、その間を空中回廊で結び、会期後はまた公園に戻ることになっています。この空中回廊がグロバルループと呼ばれ、巾二十一米、長さ二千六百米で、間



伐材を利用して床張りされています。来場者は空中をそして緑の中を歩いているような感覚を味わえるばかりでなく、世界の各国のパビリオンをつなぐループを歩いて世界一周して各国と国際交流ができ、また日本に居ながらにして各国情緒を体感できる楽しみがあります。



グローバルループ (空中回廊)

今回は、企業パビリオンが比較的少なくて十くらいしかありませんが、来場者の人気は依然としてこれに集中しており、特に昼間は長時間待ちになっているようです。

会場は夜十時までやってますので、夏の夜を涼み乍らおいでいただきゆつくりと内外のパビリオンや催しをみられるのもよいかと存じます。

開幕当初いろいろと問題になった弁当持込みについてはおかげ様で解決されました、マンモスの見学も改善され、また雨や日照、猛暑対策などの施設対策も逐次整備され御来場の皆様を快適にお迎えできるように運営されていますので是非またお出掛け下さい。

そして、愛・地球博のテーマ「自然の叡智」の「自然」と云う言葉がテーマになったのは万博始まって以来、初めてのことだそうです。自然のすばらしさと厳しさを感じとっていただければ幸いです。



四力国語を話す接客ロボット



地球市民村



モロッコの民族舞踊

Jネットサロンのご案内 ふるさとの人とお話しませんか？

○関西地区サロン（大阪サロン）

昨年の関西地区サロンは、十二月四日大阪弥生会館で開催されました。
今年の日程等決まり次第毎月の「たより」でお知らせします。



○東海地区サロン(名古屋サロン)

第六回Jネット名古屋サロン開催の計画が決まりました。

名古屋地区では平成十二年十二月三日に第一回名古屋サロンを開催して以来、毎年回を重ね、今年で六回となります。今年も、例年通り名古屋のランドマーク：JRツインタワー内にあるお店で開催します。

大いに賑わいました愛・地球博の打ち上げもまじかに迫ってきました。会場ではこれをイメージして「世界のおまつり料理」が待っているそうです。楽しいひと時をお過ごしください。



日時 平成十七年九月十日(土)

十八時より(集合 十七時五十分)

場所 名古屋マリオットアソシアホテル

(JR名古屋駅ツインタワー)

十五階コーヒーショップ バーゴラ

(TEL〇五二・五八四・二二〇二)

会費 四、〇〇〇円(当日会場にて)

お問い合わせ Jネット事務局

名古屋通信員 尾原 勝利



○東京地区サロン

毎月第二水曜日午後五時三十分から東京渋谷の運営委員会事務局で開催しております。

会費一、〇〇〇円





地元に着した総合タウン誌

月刊 **JACK LAND**
上越エリア情報誌 ジャックランド

320円

毎月25日発売

定期購読承ります

新潟県上越市上島464-1 エリート2F
TEL.025-524-4275 FAX.025-524-4451
e-mail j-4275@lily.ocn.ne.jp

会の運営に
ご協力いただいている
特別賛助会員です。



- ★特別賛助会員とJネットはお互いに協力しながら良い街づくりをめざします。
- ★Jネットでは会の運営に協力していただける特別賛助会員を募集しております。
- ★皆様のご存知の企業・団体等で賛助会員をお願いできるようなところがありましたら是非ご紹介ください。

NPO法人 食の工房ネットワーク

NPO法人・食の工房ネットワークは、私たちが目指す「“食べる側”と“作る側”を本来の姿になく活動」を中心に、お互いの立場から結びつきを大切に、畑から食卓までの流れの中で、安全性や品質に“透明性”を求めることを共通の目的として設立いたしました。消費者と生産者がお互いに通じながら、安全な地場の生産品を、安心して食べることが出来るように“食に関するプラットフォームづくり”を進めています。



上越市の田舎と妙高山

こんな活動をしています

- 農産物・加工品に関する情報収集及び情報発信
- 農産加工品に関する調査及び研究
- 地場農産物・加工品の消費拡大事業
- 自然を通じて子供たちに五感を感じさせる活動

これらのコンサルティング・教育・講習を中心に事業展開しています。

介護付有料老人ホーム **今秋11月オープン予定**
※新潟県指定介護保険特定施設申請予定

サックス高田

入居者募集のご案内

所在地	上越市寺町3丁目10番11号 JR高田駅より270m徒歩で約5分 大興業株式会社旧寺町工場跡地													
事業主体	株式会社 くびき野ライフスタイル研究所													
建物延面積 など	3,858.06㎡(約1,167坪) 鉄筋コンクリート造 5階建 1 階 事務室・地域交流室・機能訓練スペース・大浴室など 2 階 併設施設ショートステイ20人(全室個室) 3~5階 介護付有料老人ホーム54人(全室個室)													
類型及び 表示事項	<table border="1"> <tr> <td>居住の 権利形態</td> <td>入居時の 要件</td> <td>介護保険 区分</td> <td>介護度 区分</td> </tr> <tr> <td>専有利用方式 賃貸方式併用型</td> <td>入居時 要支援・要介護</td> <td>要支援 要介護1・要介護2</td> <td>要介護3以上</td> </tr> </table>	居住の 権利形態	入居時の 要件	介護保険 区分	介護度 区分	専有利用方式 賃貸方式併用型	入居時 要支援・要介護	要支援 要介護1・要介護2	要介護3以上	<table border="1"> <tr> <td>介護度 区分</td> <td>職員体制</td> </tr> <tr> <td>全室個室</td> <td>専任にわたる 3人以上</td> </tr> </table>	介護度 区分	職員体制	全室個室	専任にわたる 3人以上
居住の 権利形態	入居時の 要件	介護保険 区分	介護度 区分											
専有利用方式 賃貸方式併用型	入居時 要支援・要介護	要支援 要介護1・要介護2	要介護3以上											
介護度 区分	職員体制													
全室個室	専任にわたる 3人以上													
入居募集	平成17年7月より、入居の照会・相談・申込みなどを承ります。													
入居の照会と 手続きなど	入居希望についてお問合せいただきますと ①まず「入居者募集のご案内」などの書類をお届けのうえ、ご説明いたします。 ②次に、ご家族などにご相談のうえ、「入居申込書」をご提出していただくこととなります。 ③その後、ホームの審査とご本人の承諾を経て、契約から入居の手続きとなります。													
入居対象者	概ね70歳以上で、要支援・要介護の認定を受けている方													

お申込み
お問合せ **株式会社 くびき野ライフスタイル研究所**
TEL.025-525-7038 〒943-0834 上越市高田町2丁目10番25号
E-mail: info@sankusutakada.co.jp



創業明治23年
伝統の味
岩の原ワイン

～日本の本格的ワイン発祥の地～

株式会社 岩の原葡萄園

TEL 025-528-4002 新潟県上越市北方1223番地
URL <http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/>

日本の本格ワイン発祥の地「岩の原葡萄園」は、明治23年の創業以来、3世紀にわたって高品質のワインを世に送り出してまいりました。
お蔭様で上越市の代表的な特産品として、多くの方にご愛飲いただいております。さて、弊社では、遠方にお住まいでお近くに岩の原ワイン取扱店がない方に向けて、「岩の原ワイン みゆき会」の会員を募集いたしております。
ワイン10,500円以上のご注文で送料無料、ご入会プレゼントや、お買上げのポイントによるプレゼントなど、色々の特典がございますので、Jネット会員の皆様も是非ご利用下さい。
お問い合わせ 株式会社岩の原葡萄園 025-528-4002

山里のすべてが湯ったり村です。

寂 静 瀬 音 風 鳴 花 薫 紫 昏 月 明
星 雨 狭 霧 伝 説 豊 饒 叢 雲 蒼 穹



十人十色の癒しの郷
くわとり湯のり村 上越市橋口601
TEL 541-2611 FAX 541-2616

毎日、発行しています。

ふるさと 懐かしい故郷の香りや音を、
ふるさと そして新しい故郷の風をお届けします

上越タイムス

■ご購入のお申し込みは■

0120-17-4243

本社/〒943-0823 新潟県上越市高土町1-1-6
TEL025-525-6666 FAX025-525-0061
times@joetsu.ne.jp

¥ ふるさとの便りに…
郵送は2,875円(郵送料込)



「ギャバ+」は忙しくて食生活の不規則な方、美容と健康が気になる方、食養生やカロリーコントロール中の方にお薦めです。微粉末で消化吸収がとても良いため、噛む力の弱い方、赤ちゃんの離乳食などにもお使いいただけます。

新発売



JA えちご上越 あぐりフーズ

えちご上越農業協同組合 あぐりフーズ
〒942-0061 新潟県上越市春日新田5-3-11

0120-81-1093

上越市の主な催し

ふるさとの祭に参加してみませんか？

月	日	名 称	開催場所	問合せ先
7月	1日(金)	鶴の浜海水浴場海開き	大潟区 鶴の浜海水浴場	観光協会 025-534-6666
	2日(土)	ほたるコンサート	大島地域 生涯学習センター	大島音楽協会 025-594-3201
	7日(木)~13日(水)	大町祇園祭	名立大町	名立区総合事務所 025-537-2121
	9日(土)~ 9月18日(日)	小林古径展(仮称)	小林古径記念美術館 上越市立総合博物館 小林古径邸	小林古径記念美術館 025-523-8680
	上旬	上越産業フェア	リージョンプラザ上越	上越市産業振興課 025-526-5111
	16日(土)~ 8月21日(日)	夏季特別展「イルカショー」	水族博物館	水族博物館 025-543-2449
	18日(月)	卯の花音楽祭	大潟区総合事務所 パティオ	教育委員会大潟区分室 025-534-2111
	23日(土)~29日(金)	上越まつり	上越市内	上越観光コンベンション協会 025-543-2777
	7月予定	図書館こども祭	高田図書館等	高田図書館 025-523-2603 直江津図書館 025-545-3232
	30日(土)~31日(日)	名立まつり	名立大町	名立区総合事務所 025-537-2121
	30日(土)~8月21日(日)	「恐竜展(仮称)」	上越科学館	上越科学館 025-544-2122
	31日(日)	地引き綱	柿崎区 川西海水浴場	柿崎区総合事務所内 観光協会事務局 025-536-6712
	31日(日)、8月7日(日)~ 17日(水)、21日(日)、 28日(日)	サイエンスショー 「音の結晶のふしぎ」	上越科学館	上越科学館 025-544-2122
8月	6日(土)	第8回越後よしかわやったれ祭り	吉川区原之町 商店街通り	吉川区商工会 025-548-2109
	6日(土)	サマーカーニバル in 清里	上越市立清里中学校 グラウンド	清里区総合事務所内 実行委員会事務局 025-528-3111
	6日(土)~7日(日)	「夜の水族館」探検隊	水族博物館	水族博物館 025-543-2449
	6日(土)~7日(日)	柿崎時代夏まつり	柿崎区 柿崎小学校前広場	柿崎区総合事務所内 観光協会事務局 025-536-6712
	6日(土)~7日(日)	頸城の祭典	ユートピアくびき一帯	頸城区総合事務所 025-530-2311
	7日(日)	納涼花火大会	柿崎区 中央海水浴場	柿崎区総合事務所内 観光協会事務局 025-536-6712
	7日(日)	安塚歩行天まつり	安塚区 総合事務所周辺	安塚町商工会 025-592-2265
	上旬	みょうがまつり	正善寺工房	正善寺工房 025-523-0621
	上旬	うらがわらまつり	浦川原区総合事務所 駐車場	浦川原区総合事務所 025-599-2301
	上旬	パラグライダー スチューデントカップ	吉川区尾神岳	教育委員会吉川区分室 025-548-2177
	上旬~中旬	上越ますまつり	上越市 高田公園	上越ますまつり実行委員会 事務局(上越市観光課内) 025-526-5111
	16日(火)~17日(水)	謙信公祭	上越市 春日山城跡周辺	謙信公祭協賛会事務局 (上越市観光課内) 025-526-5111

月	日	名称	開催場所	問合せ先
8月	募集:8月22日(月) ～10月30日(日) 展示:11月27日(日)～3月	第16回水族博物館写真会	水族博物館	水族博物館 025-543-2449
	27日(土)	海と踊りの祭典	大潟区	観光協会 025-534-6666
		2005鶴の浜温泉祭り	鶴の浜海水浴場	
	下旬の日曜日	第17回上越レガッタ	国道8号線関川大橋 上流の特設会場	上越レガッタ実行委員会 025-525-4144
	下旬	山本ぶどう祭り	山本ぶどう園 展望台広場	浦川原区総合事務所 025-599-2301
9月	23日(金・祝)	大池まつり	大池こいの森 第3キャンプ場	頸城区総合事務所 025-530-2311
	23日(金) ～10月2日(日)	上越科学館標本作品展	上越科学館	上越科学館 025-544-2122
10月	1日(土)～11月6日(日)	神原藩の名宝展(仮称)	上越市立総合博物館 小林古徑記念美術館	上越市立総合博物館 025-524-3120
	初旬	越後よしかわ酒まつり	道の駅 よしかわ村氏の郷	吉川区総合事務所 産業建設グループ 025-548-2311
	16日(日)	清里区体育祭	清里スポーツ公園 グラウンド	清里区総合事務所 025-528-3111
	16日(日)	ブナ林探険教室	板倉区光ヶ原高原	上越科学館 025-544-2122
	中旬	第7回城下町・高田花ロード	上越市本町商店街他	上越市産業振興課 025-526-5111
	22日(土)・23日(日)	生涯学習フェスティバル	大潟町小学校	教育委員会大潟区分室 025-534-2111
	29日(土)・30日(日)	生涯学習フェスティバル	ふれあい館	大島地区公民館 025-594-3201
	29日(土) ～11月3日(木)(※予定)	生涯学習フェスティバル	頸城区 ユートピアくびき希望館	ユートピアくびき希望館 025-530-2360
	30日(日)	菖蒲高原そばまつり	大島区 菖蒲高原ペルハウス	菖蒲高原ペルハウス 025-594-2030
	下旬	第36回上越市錦鯉品評会	くわとり湯ったり村	上越市錦鯉養殖組合 025-541-2119
	下旬	パラグライダー大会 新潟県知事杯争奪スカイグランプリ	吉川区尾神岳	教育委員会吉川区分室 025-548-2177
	11月	3日(木・祝)	おおしま 農業祭	大島ゆきわり荘前
3日(木)		産業まつり	JAIまなす支店前広場	柿崎区総合事務所産業建設 グループ 025-536-6709
上旬		収穫祭	正善寺工房	正善寺工房 025-523-0621
上旬		さけ大漁祭	桑取川さけ採卵 加工施設	桑取川漁業協同組合 025-546-2217
上旬		農業祭	ほくまく線 うらがわら駅駐車場	浦川原区総合事務所 025-599-2301
上旬、下旬(2回実施)		「桑取川のサケ」観察・体験学習	水族博物館	水族博物館 025-543-2449
13日(日)		農林水産業フェスティバル 夢大地おおがた2005	大潟カントリー エレベーター前広場	大潟区総合事務所産業建設 グループ 025-534-2111
13日(日)		清里そば祭り	山荘京ヶ岳	清里区総合事務所 025-528-3111
中旬の日曜日		第23回ファミリー綱引大会	リージョンプラザ上越 インドアスタジアム	ファミリー綱引大会実行委員会 025-525-4144
下旬		鮭のつかみどり	名立川河口	名立区総合事務所 025-537-2121
12月	17日(土)・18日(日)	冬のサイエンスひろば	上越科学館	上越科学館 025-544-2122

○ 上越市の施設



上越市の施設を割引で利用できます。利用の際には
会員証を提示してください。()内は会員の割引料金です。

名 称	住 所	電話番号	料 金
			一 般
リージョンプラザ上越 (アイスアリーナ貸し靴除く)	上越市下門前446-2	025-544-2122	レジャープール
			400円(200円)
			アイスアリーナ
			800円(400円)
市民プール	上越市下門前446-2	025-544-2122	300円(150円)
上越科学館	上越市下門前446-2	025-544-2122	400円(200円)
水族博物館(サイクルモノレール含む)	上越市西本4-19-27	025-543-2449	通常料金
			900円(450円)
			イルカショー
			1,200円(750円)
オールシーズンプール	上越市新光1-9-1	025-524-3130	300円(150円)
五智公園キャンプ場(バンガロー使用料)	上越市五智6-1569	025-543-5948	バンガロー使用料
			6人用 3,500円(1,750円)
総合博物館(特別展除く)	上越市本城7-7	025-524-3120	300円(150円)
高田城三重櫓	上越市本城6-1	025-526-5915	200円(100円)
日本スキー発祥記念館	上越市大貫1453-1	025-523-3766	300円(150円)
金谷山スキーリフト・スーパースレー	上越市大貫595-2	025-525-4295	リフト・ボブスレー
			1回につき各100円(50円)
海洋フィッシングセンター(えさ代除く)	上越市虫生岩戸	025-544-2475	100円(50円)
交通公園ゴーカート	上越市五智6-1569	025-543-5948	ゴーカート
			1人用100円(50円)
市民いこいの家	上越市石橋1-1-3	025-545-5270	250円(125円)
市民プラザ	上越市土橋1914-3	025-527-3611	施設により料金が 異なります
小林古径邸	上越市本城7-1	025-525-2429	200円(100円)
上越リゾートセンターくま家族園	上越市東中島2487	025-544-7440	400円(200円)
春日山城跡博物館	上越市大豆335	025-544-3728	無料
旧師団長官舎	上越市大町2-3-30	025-526-5903	無料
上越市埋蔵文化財センター	上越市春日山1-2-6	025-521-6280	無料



○ 上越市の施設 新たに上越市へ導入された施設

施設名	住 所	電話番号	料金(一般)
かやぶき美術館	安塚区安塚 804-4	025-592-2048	300円
安塚歴史民俗資料館	安塚区安塚 609-3	025-592-2209	100円
蒲川原霧ヶ岳温泉ゆあみ	蒲川原区古谷島 1217-1	025-599-3810	500円
牧湯の里深山荘	牧区宇津保 285	025-533-6785	パターゴルフ場 1,000円 釣堀(1人4時間まで) 500円
牧歴史民俗資料館	牧区宮口 1483-1	025-533-5117	200円
坂口記念館	野町区鶴ノ木 148	025-530-3100	200円
板倉郷土館	板倉区針 842-1	0255-78-2325	100円
清里星のふるさと館	清里区青柳 3436-2	025-528-7227	入館料 300円 プラネタリウム料金 300円
清里歴史民俗資料館	清里区岡野町 1580	025-528-3111	100円



編集後記

編集していて厄介なことは、紙面の都合上4ページ単位で原稿枚数を増減させなければならないということです。今回も1ページ分の原稿が足りないことがわかりました。こんなわけで急ぎよ、私の小学校時代の古い写真を取り出して当時の母校を紹介いたしました。

うれしい事もありました。寄稿いただいた山岸さんとお話していたら、私の姉の先輩で昔親しくおつきあいされていたとの事。直後、「山岸さんからお電話を頂戴した」と姉から聞き、とてもうれしく思いました。

こんな再開の場を提供するのも、Jネットの役目でしょう。

総会、懇親会、文化講演会、ふるさと交流会、会報、「お元気ですか」などたくさんのお会いと、再開の場があります。新潟県人は引っ込み的と言われていますが、旧知の人を見つけたら、お話ししてみたら如何ですか。きっと懐かしい、楽しい会話が進むと思います。

猛暑の季節です。

皆様お体を大切にお過ごしください。

Jネット運営委員 岡村博己



●発行

ふるさと上越ネットワーク事務局(上越市企画・地域振興部 企画政策課内)

〒943-8601

新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 FAX.025-526-8363

E-mail: kyoudou@city.joetsu.lg.jp

運営委員会事務局

〒150-0011

東京都渋谷区東1-26-30 渋谷イーストビル

(株)社会システム研究所内

TEL.03-3499-8299 FAX.03-3486-0986

URL <http://www.joetsu.gr.jp/>

【情報をお待ちしています】 TEL.025-526-5111(Jネット事務局)
